

「翻訳詩」の世界

“詩”の「翻訳」は、

翻訳と日本語の可能性を追求する
本道である。

近代日本の詩人・作家・批評家にとって、

「詩とは何か」ということは

「詩の翻訳とは何か」に等しかった。

日本人にとって「翻訳」とは“詩”とは何か

日本語とは、文学とは、言葉とは……

いま再び問う。

- 2.....「翻訳詩」事典 フランス編
- 5.....ボードレール 明治・大正期翻訳作品集成
- 8.....明治翻訳文学全集 より「翻訳詩」
- 10 明治翻訳文学全集 《新聞雑誌編》《翻訳家編》
- 11 世界文学総合目録
編著者紹介（川戸道昭・榊原貴教）
- 12 翻訳・文学・日本語・近代 関連書

学術資料出版

大空社出版

2026.7

「翻訳詩」事典

フランス編

編著 榊原貴教

明治以降の「翻訳詩」の深奥で馥郁^{ふくいく}たる文学世界を
龐大な**原典引用**（作品・詩論と翻訳者・原作者）で鳥瞰し、見せる
真にユニークな**初の**「翻訳詩」事典

詩を詩歌を読む、
日本語でより深く味わうための
新文学事典



— Paul Verlaine

ヴェルレーヌの名詩
この4行の翻訳に日本人は
どれだけ心血を注いだか……

本事典の構成

II I

日本とフランス編（約250頁）

日本近代の翻訳者と重要翻訳作品および文芸・文化・社会思潮関連の事項を、**〈原典資料の引用〉**を主に構成する。約160項目立項。

フランス詩人編（約250頁）

原作詩人（主に19世紀以降30人弱）の明治以降の代表的紹介・論評を**〈原典資料の引用〉**で構成。また、代表作の翻訳を並列し比較・味読のための他にない資料とする。詩人別「翻訳総合年表」を付す。

参考文献（執筆者別引用文献リスト）
索引（人名・件名・書名）

[2018年7月刊]
ISBN978-4-908926-49-5
B5判・560頁
上製・クロス装・カバー
定価(本体 28,000円＋税)

① ころのうちに泣く涙、
町に降り来る雨のごと、
しのぶおもひのたゆげにも、
など泣きわぶるわがころ。

② 市にそぼふる雨のごと、
あゝ我心けふも泣く。
如何なればそもわが心、
詫しく辛く痛むらん。

③ 都に雨の降るごとく、
わが心にも涙ふる。
心の底ににじみいる
この侘しさは何ならむ。

④ 都に雨の降るごとく
心に雨降り。
魂にしみ入る悲哀の
云ひ様なきものうさよ。

⑤ 巷に雨のふるごとく
わが心こそ涙すれ、
胸のなかにし浸み入りし
この衰へのいかなれば。

⑥ しとしとと街にふる雨は、
涙となつて僕の心をつたう、
このにじみ入るけだるさは
いったいどうしたことなんだ？

⑦ 都に雨のふるごとく、
わが心こそ涙すれ。
わが心をばつらぬける
このたゆたさや何ならむ。

⑧ 巷に雨の降る如く
われの心に涙ふる
かくも心にしみ入る
この悲みは何ならん？

*それぞれ誰の翻訳でしょう……

次頁に訳者を紹介（同一訳者のものも含まれています）

（訳例は本事典より）

I 日本とフランス編

● 膨大な言説の集積Ⅱ必読・不朽の資料で読む・見る
翻訳詩と翻訳史 近代日仏文芸交流史の粋を結集

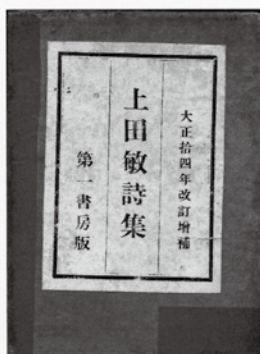
翻訳詩に関する過去のさまざまな知見を一堂に会する真の労作。
明治・大正・昭和・平成に公刊された五〇〇点余の著作・論文か
らの〈引用で構成〉し、翻訳詩および翻訳文学の諸問題を尋ねよ
うとする人々が研究するための手がかりを網羅する。

日本とフランス



■ 上田敏

ら見れば甚だしく物足らぬ微温的なものとな
るのであるが、これは一つの態度をもととした
見方で、その態度にあやまりあるにせよ、ない
にせよ、その尺度から見れば泡鳴ウエルレーヌ
以外の詩人は、悉く微温的な非デカダン詩人と
いふ事になるので、この独断的なお山の大将説
のために災せられて、詩文壇から泡鳴はつねに
カリケチュア扱ひせられた——（日夏耿之介）
にある通りの評言で充分だと思ふ。どこに泡鳴
の自負する象徴詩があるのか解らない。むしろ
デカダン詩人の立場を主張した方が正当ではな
かつたろうか。（笹沢美明「日本象徴派について」
『現代詩の歩み』、昭和二十七年一月、宝文館）



外国文学者・翻訳家。明治七年一〇月三〇
日（大正五年七月九日）（Bartleby）東京
築地に生れる。別号柳村。祖父は文久元年、
外国奉行配役として福沢諭吉らと渡欧。父
も慶応二年、渋沢栄一らと渡欧。また母方の
叔母上田梅子は岩倉使節団の日本人初の子
留学生として津田梅子らと渡米する。第一高
等中学校をへて、明治二十七年東京帝国大学英
文科に入る。同年「帝国文学」の発起人の一
人となり、翌年一月に創刊。毎号のように執
筆。三六年、ラフカディオ・ハーン辞任を受
けて、夏目漱石らと共に東大英文科の講師と
なる。四〇年、アメリカをへてフランスに遊
学。著書として『最近海外文学』（明治三十四）

をつくし（明治三十四）『海潮音』（明治三十八）『牧
羊神』（大正八）『上田敏詩集（改訂増補）』（大
正十四）などがある。

永井荷風のフランスでの面会

★（おのれ始めて上田先生が尋知となるを得た
りしは千九百八年三月先生の巴里に滞留せられ
し時なり。此より先わが身猶里居の某銀行に勤
務中一日公用にてソオン河上の客棧に嘲風姉崎
博士を訪ひし事ありしがその折上田先生の伊太
利亞より巴里に來られしことを知りぬ。わが
胸はいまだ其人を見ざるに先立ちて怪しくも轟
きたり。何が故ぞや。そもく其の年月わが身
をして深く西歐の風景文物にあこがれしめしは、
かの即興詩人月草かげ草の如き森先生が著書と
また最近海外文学文藝論の如き上田先生が著述
との感化に外ならざればなり。わが身の始めて
ポオドレエルが詩集『花のいかなるものか』を
知りしは上田先生の太陽臨時増刊『十九世紀』
といふものに物せられし近世佛蘭西文学史によ
りてなりき。かくてわがいはかにして佛蘭西語
を學び佛蘭西の地を踏まんとの心を起せしが、
幸にして今やその望み半既に達せられんとする

● ユニークな（他書で引けない）項目の数々

人名・書名・作品名のみならず、翻訳と翻訳詩
に関わるキーワードが項目・小見出しに採られ、
研究テーマの宝庫となっている。

※項目約160、小見出し約340

◆ 小見出しの例（『詩の翻訳』『堀口大学』より）

詩の翻訳 精神の変更を可能にする翻訳／英詩の翻訳に
未だ成功なし／訳語の借用／二葉亭四迷の翻訳／堀口
大学の訳詩／高村光太郎の訳詩／上田敏と堀口大学の
訳詩／上田敏の訳詩／大伴宿禰家持の訳詩

堀口大学 堀口大学さんの詩（与謝野晶子）／終生の友
／原著より訳書の方が面白い／原作者と同時代に生き
る／大正末年の翻訳詩／堀口久萬一の結婚

◆ 人名・書名・作品名以外の項目より

愛国詩人 漢詩 近代とはな
にか 軍歌 言文一致詩 口
語自由詩 語学学習の動機
作詩学 散文詩 詩歌文学の
科学的研究 詩作の目的 詩
の用語 社会詩 唱歌 象徴
主義 叙事詩 叙情詩 女性
詩人 新散文詩運動 新体詩
新体詩と和漢漢詩 西欧の理
想化 戦争文学 日本におけ
るフランス文学 日本の音韻
律美文 フランス留学 翻訳
詩 翻訳文学 マチネ・ポエ
チック 明治の翻訳界 明治
の翻訳詩書 ロマン主義

◆ 訳詩集・詩論より

有明集 蒲原有明／於母影
（SSS）／海潮音（上田敏）
／海表集（日夏耿之介）／近代仏
蘭西詩集（大木篤夫）／月下の
一群（堀口大学）／珊瑚集（永
井荷風）／シテールへの旅（井
上究一郎）／詩の鑑賞（百田宗
治）／白孔雀（西条八十）／青
年唱歌集（山田美妙）／世界近
代詩十人集（伊藤整）／象牙集
（福永武彦）／ダダ・シュレ
アリズム新訳詩集（塚原史・
後藤美和子）／超現実主義詩
論（西脇順三郎）／表象派の文
学運動（シモンズ・岩野泡鳴）
／フランス抒情詩集（鈴木信
太郎）／フランス詩話（斎藤磯
雄）／山内義雄訳詩集／リラ
の花（与謝野寛）

* 書影・肖像など図版多数掲載

◆ 見本（縮小約73%）判型ⅡB5判（257×182ミ）

ボードレール

明治・大正期
翻訳作品集

編集
川戸道昭
榎原貴教

群を抜く〈翻訳〉量と、近現代日本の
詩人・作家・芸術家・読者に与えた
深甚なる影響度――

世界的遺産・詩人ボードレールの作品が
日本人の精神史におよぼした軌跡を
原典復刻でたどる初の資料集

“解釈”を超えて
オリジナルな研究が
生れることを願う。

明治・大正期のボードレールの詩の翻訳量は、他のフランス詩人の翻訳に比べても比類ない。大正末年に至るまでに、すでに一〇〇点を越える翻訳が新聞雑誌に掲載された。そして、その影響は文学史家の想定を超えるものがあつた。ボードレール研究を単に「学問」的な狭量な研究にとどめず、日本人の精神史の一環としてとらえるならば、再検討の時期にきていると言える。

上田敏によつて幕開けされたボードレールの日本語の翻訳は、蒲原有明、三木露風、永井荷風、内藤濯、仲田勝之助、三富朽葉、山村暮鳥、川路柳虹、大手拓次、堀口大学、谷崎潤一郎、相馬御風という、研究者ではなく、日本近代詩史の担い手たちによつて行なわれてきた。ボードレールの詩は、単に日本の読者に届けられていただけでなく、詩人自らの詩作に刺戟を与え続けていた。日本の近代詩はその影響下で生成してきた。その軌跡を明らかにすることが、文学史と文化史の役割であり、また世界的遺産であるボードレールの作品に、現代日本人はいかなる評価と対処をなすべきか、当然フランスのボードレール研究者とは異なる見解が生れてきてもよいであろう。（刊行にあたって・抄）

付「ボードレール翻訳年表
明治～平成」（2段組・約50頁）

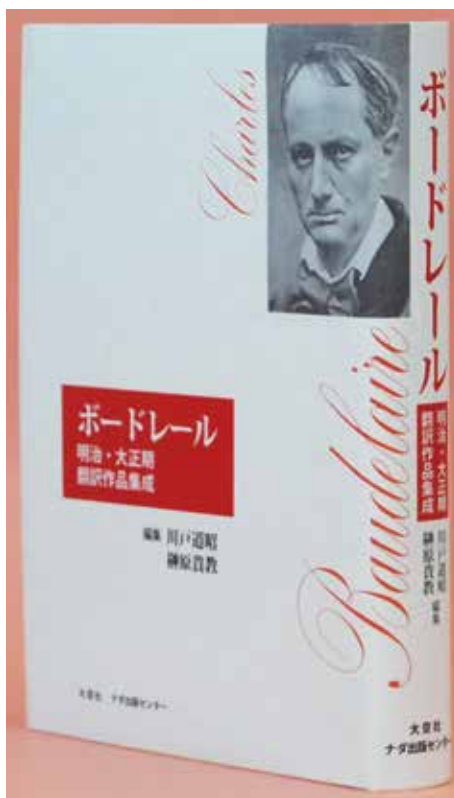
〔2016年6月刊〕

ISBN978-4-283-01327-8

B5判・430頁

上製・クロス装・カバー

定価（本体 20,000 円＋税）



【内容・構成】

- 1 明治・大正期に日本語訳されたボードレールの作品（詩・散文詩）を集成、発表年代順に編纂した。
- 2 可能な限り〈初出〉文献を採用し、新聞雑誌（一部単行書）に掲載の形を再現し復刻した。
- 3 「ボードレール翻訳年表」（約50頁）を付した。収録作品名を網羅した初の翻訳史年表！

海潮音

上田 敏

信天翁

波路遙けき徒然の慰草に船人は、
八重の潮路の海鳥の沖の大夫を生擒りぬ。
楫の枕のよき友よ、心開けき飛鳥かな、
奥津潮騒すべりゆく、越近く群集ふ。

〈明治38年7月〉

ボードレールの詩

永井 荷風

死のよろこび

わが遺書を讀み、墳墓をにくむ。
死して徒に、人の涙を請はんより、
われ遺書を讀み、墳墓をにくむ。
死して徒に、人の涙を請はんより、
われ遺書を讀み、墳墓をにくむ。
死して徒に、人の涙を請はんより、

散文小詩

（ボードレール）

蒲原 有明 譯

世界の外へ

人生は病院だ、その病院内で各患者は彼のベッドを換へたいといふ希望に驅られて居る。一人が兎ても苦しむなら火の傍で苦しみたいと思つて居れば、また他の一人は窓の側に行つて見たら必つと王合が宜くなるだらうと思つて居る。
そんな譯から私は何處か他の處に行つて居たなら、いつも幸福に暮らせることと思つて居る。この居を移すといふこと

夢幻の彫刻

（ボードレール）

大手 拓次

〈大正4年1月〉

萬物照應

（ボードレール） 川路 柳虹 譯

奇妙な化物ははれのかざりに、
ただ異形の風をする醜い冠を
その瘦骨のあたまのうへにをかしくのつけてゐた。
拍車もなく、鞭もなく馬をあへがせる。
てんかん病
その身をお
空間をよぎ
おぼつかない
騎士はその
もわたつ刀
そしてわが
無限の寒冷
そこに、白い
古今史

見知らぬ國の匂ひ

充たされぬ。
きみが香に守られて魅はしき國のかた
にと。
われは見る一つの港帆と帆船の影しげ
滄溟の波にいきなほ疲れ果てたる港を
ば。

無韻小詩

變り者

ボードレール
山村 暮鳥 譯

「もし、君。ENIGMATIC MAN. 君の最愛なるものは誰だ。父か、母か、姉妹か、それとも兄弟か。」
「わたしには父も母も姉妹も兄弟もありません。」
「そんなら友達か。」
「それは、わたしには何の意味もないことでした。その言葉は。」
「では國家。」

ボードレール詩抄

馬場 睦夫 譯

萬物照應

地より高く、雲より高く、
山より、森より、雲より、海よりも高く、
太陽の彼方、大空の彼方に、
散りこぼれた諸天體の境界の彼方に、
私の心は敏捷に昇つて行き、
波間に夢中になる水練家のやうに、
深遠な無限境をば快活に切つて行く、
言ふに言はれぬ雄々しい愉快のその中に。
私の心よ、この病的な惡氣から遠く飛び去れ！
上層の純大な氣に登つて身を淨め、
清淨な靈液のやうに、
自然は一大伽藍、其處に生きた柱が
麗ろな言葉を時々放つ、
人は、親しげな眼差をして、己れを眺める
この象徴の森の木の間を辿り行く。
夜のやうに、光明のやうに、廣大に、
陰秘で深遠な渾一の中に
遠く相混和する、長びく反響のやうに

〈大正9年1月〉

〈大正4年9月〉

見本縮小

— 放

解 —

112



不思議な人

——ボードレール散文詩集——

谷崎潤一郎

聞かせてくれ、謎の人よ、君が最も愛するのは誰か？ 君の父か、君の母か、君の姉妹か、君の兄弟か？

「わたしには父もなく、母もなく、姉妹もなく、兄弟もない。」
では君の友達は？

「わたしにとつては此れまで何の意味をなさない言葉を君は使つて居る。」
君の國は？

「わたしはわたしの國が位して居る緯度をも知らない。」
それなら「美」は？

「彼女ならわたしは進んで愛してもよい、女神であり、さうして不滅であるところの彼女であるなら。」
金は？

「わたしはそれを嫌つて居る、君が君の神を嫌つて居るやうに。」

明治翻訳文学全集《新聞雑誌編》 全50巻・別巻2 より

《「翻訳詩」収録の巻》全収録作品一覧

いずれも

残部
数冊

2026.7

【第15巻】イギリス詩集 I

●ワーズワス、コールリッジ、バイロン、キーツ、シェリーの明治20年代にかけて発表された約80編を収録。ワーズワス、バイロンは、透谷ら「文学界」同人の浪漫主義に大きな影響を与えた。

【ワーズワス編】 韻文、山の翁 山田美妙訳 国民之友・明24／子犬（戸川残花訳 日本評論・明25／郭公詞（島崎藤村評訳 女学雑誌・明治25）／うしろ、ぐれい（宮崎湖処子訳 国民新聞・明25）／我等七人（宮崎湖処子訳 少年園・明25）／稚き折のことを憶ひいでゝ永劫存在をさとの歌（家永えい子訳 国民之友・明26）／母のおもひ（家永えい子訳 家庭雑誌・明26）／泉（宮崎湖処子訳 少年園・明26）／三月（大和田建樹訳 日本之少年・明27）／我等は七人（坪内逍遙訳 国学院雑誌・明29）／呼子鳥に（坪内逍遙訳 国学院雑誌・明29）／幼時を憶うて不死を知るの歌（坪内逍遙訳 国学院雑誌・明29）／失題（宮崎湖処子訳 国民之友・明30）／牧人行（宮崎湖処子訳 太陽・明30）／水仙（忘我訳 帝国文学・明31）／雀の巣（尾上柴舟訳 心の花・明35）／飛鹿泉（川政教時報・明36）／夕（波岡茂訳 政教時報・明36）／飛鹿泉（川田順訳 帝国文学・明37）／反魂香（水上夕波訳 帝国文学・明37）／後代、詩人（厨川白村訳 明星・明37）／落葉（水上夕波訳 明星・明37）／幼兒（英男訳 文庫・明38）／雲雀に与ふ（小原無絃訳 読売新聞・明38）／スーザンの幻覚（無署名 新声・明38）／雲雀に与ふ（戴紫影訳 新声・明38）／畫木（戴紫影訳 文庫・明38）／小羊（蘆村漁郎訳 文庫・明38）／兒童（本田雙石訳 なのり・明39）／胡蝶に（紫嵐訳 文庫・明39）／不滅を示めす幼兒の追憶（岩野泡鳴訳 太陽・明41）／我等は七人（萩畔生訳 婦女界・明42）

【コールリッジ編】 君思不能忘（綱齋主人訳 日本之少年・明27）／画像の秘密（戸沢姑射訳 明星・明36）／片雲（尾上柴舟訳 明星・明36）／恋（高田梨雨訳 明星・明37）／「モン、ブラン」の曙（浦瀬白雨訳 新声・明37）／抒情歌（おもわれびと訳 明星・明37）／もんぶらんの朝顔（若月紫蘭訳 帝国文学・明38）／高嶺の曙（衣水生訳 文庫・明39）

【バイロン編】 いねよかし（落合直文訳 国民之友・明22）／Parisina（星海堂主人訳 青年文学・明25）／大海原（大和田建樹訳 日本之少年・明27）／来因の玉づき（無署名 帝国文学・明31）／ドン、フアンの一節（木村鷹太郎訳 明星・明33）／チャイルド、ハールト漂

＊「詩」を主に収録する巻を選んだ。
（他にも一部収録する巻がある。ホームページ掲載「明治翻訳文学全集・全収録目録」を参照）
＊価格・ISBNは本冊子10頁参照

流記（無署名 帝国文学・明35）／まぜっぱ（皆川真析訳 帝国文学・明36）／風捲簾（大内白月訳 文庫・明37）／祖国の岸を離れて（旅びと訳 明星・明治37）／抒情歌（おもわれびと訳 明星・明37）／『海賊』第三齣（木村鷹太郎訳 国民之友・明38）／「チロン」の俘囚（浦瀬白雨訳 新声・明38）／大洋、故郷を去る曲（衣が浦人訳 文庫・明38）／脚本 海賊（磯津水翻案 白百合・明39）／ラータローの夕（紫嵐訳 文庫・明39）／シヨンの囚人（榎本秋村訳 文庫・明41）

【キーツ編】 薄命記（平田禎木訳 文学界・明27）／燈影（片上天絃訳 心の花・明37）／幻精賦（金子南冥訳 心の花・明37）／情なき姫（水上夕波訳 明星・明37）／落葉（水上夕波訳 明星・明37）／鳩（青蛙訳 新声・明38）／野にて歌へる（三宅野花訳 心の花・明38）／ワイリー姫に（柴田流星訳 白百合・明38）／情しらぬ手弱女の曲（蒲原有明訳 明星・明38）／人へ（貝葉訳 白百合・明38）

【シェリー編】 告天子の歌（忘我訳 帝国文学・明30）／哀悼（姫河原無鳴訳 白百合・明31）／雲（若月紫蘭訳 帝国文学・明34）／寂寞（高田梨雨訳 明星・明36）／西風賦（水上夕波訳 帝国文学・明36）／雲のうた（佐々木郎羊訳 帝国文学・明36）／微吟（辻村黄昏訳 明星・明37）／萎める葦（くさぶえ訳 新小説・明37）／落葉（水上夕波訳 明星・明37）／抒情歌（おもわれびと訳 明星・明37）／西風に与ふ雲（戴紫影訳 文庫・明治38）／小曲（戴紫影訳 新声・明38）／銀河（戴紫影訳 文庫・明38）

《論考》北村透谷と西洋文学（中林良雄）／「バイロン受容の問題点（葉師川虹一）」

【第16巻】イギリス詩集 II

●Iに続くロマン派詩集、ロセッティとテニソンを中心に編集。テニソンはワーズワスの後を受けた大英帝国の桂冠詩人として、明治期の文学に大きな影響を及ぼす。

【ロセッティ編】 名珠余影（そのかみ（蒲原有明訳 明星・明35）／ゑすがた（蒲原有明訳 芸文・明35）／姉妹（蒲原有明訳 クリスティナ作 婦人界・明37）／訳詩二章（交唱（依田碧浪訳 明星・明37）／みけるすこつとのわづらひ（掬水（竹村修竹訳 帝国文学・明37）／三つの影（くさぶえ訳 新小説・明37）／三つの影（くれなゐ訳 明星・明37）／文字の跡（貝葉訳 白百合・明38）／わかうど（紫嵐訳 文庫・明39）／さこそあれ（水木英夫訳 新声・明41）／若しも（高山春鳥訳 クリスティナ作 新声・明41）

【第22巻】アメリカ詩集

●ロングフェロー、ホイットマンを収める。ホイットマンは36年の鑑三、泡鳴、柳虹らの訳のほか、参考として受容史上重要な漱石金子馬治、樽木、鑑三のホイットマン論を収録して日本における詩人像の形成過程をも探る一巻とする。

【ロングフェロー編】 雨の日（中村由道訳 女学雑誌・明19）／世渡りの歌（若松賤子訳 女学雑誌・明19）／高きにすゝめ（宮崎湖処子訳 国民新聞・明23）／田舎鍛冶（植村正久訳 福音週報・明23）／マイルス、スタンデツシユの恋（山路愛山訳 女学雑誌・明24）／フロレンス、ナイチンゲール（戸川残花訳 福音新報・明24）／村鍛冶（宮崎湖処子訳 少年園・明26）／冬日・悠々訳 日本人・明30）／アメリカ三大詩人（武島羽衣訳 心の花・明32）／里の小鍛冶（枯村白土訳 福音新報・明32）／愛鷹（ときは女史訳 天地人・明32）／ナイチンゲールを讃える歌（訳者不記 東京評論・明34）／ミューズの降下（尾上柴舟訳 明星・明35）／村の鍛冶（川俣馨一訳 国学院雑誌・明35）／エバンジュリン（河越輝子訳 女鑑（明治三六年）／花あやめの歌（訳者不記 家庭雑誌・明37）／軍神星（訳者不記 英文新誌・明38）／国船（訳者不記 英文新誌・明38）／軍神星（紫嵐訳 文庫・明39）／人生の歌（長谷川康訳 英語の日本・明41）／めざまし日記の一節（桜喬生訳 明治の女子・明41）／陶器（訳者不記 中外英字新聞・明42）／人生の詩（内村鑑三訳 聖書之研究・明45）

【ホイットマン編】 死に臨んで余の靈魂に告ぐ(内村鑑三訳 聖書之

研究・明36)／露宮のあした 愛児の消息(小山内薫訳 新希望・明

38)／揺り籠から(岩野泡鳴訳 文章世界・明41)／樂のあらし(岩野

泡鳴訳 太陽・明41)／夜、浜辺に(川路柳虹訳 文庫・明41)／ホイ

トマン散文詩二編(岩野泡鳴訳 新声・明42)／街道の歌(岩野泡鳴

訳 太陽・明42)／これらに歌ひて(岩野泡鳴訳 女子文壇・明42)／

草とは何？(金子健二訳 心の花・明42)／ホイットマンの散文詩(八

橋有春訳 女子文壇・明44)

【参考】『ウオルト、ホイットマン』の詩について(夏目漱石 哲学

雑誌・明25)／米国の新文豪ワルト、ホイットマン(金子馬治 早稲

田文学・明27)／ホイットマン(無署名 太陽・明31)／ワルト、ホイ

ットマン(高山樗牛 早稲田学報・明31)／詩人ワルトホキットマン

(内村鑑三 棟林集(聖書之研究・明42)

【論考】内村鑑三訳詩集『愛吟』の位置(中林良雄)／「明治期にお

けるホイットマン受容の諸相(鈴木保昭)」

【第34巻】ゲーテ／ハイネ集

●ゲーテ「若きヴェルテルの悩み」は、明治22年の錦城訳「旧小

説」から始まる。その他断片的ながら多くの翻訳が発表された(詩

も多い)。ハイネは詩作品ゆえ、あまり目立たぬが30編以上の翻

訳がある。この2作家の作品が、日本のロマン主義の一つの源流

となっていたことは間違いない。

【ゲーテ編】ミニョンの歌(SSS訳 国民之友・明22)／旧小説(中

井錦城訳 新小説・明22)／「ヘルマン・ウント・ドロテア」の梗概(山

東生訳 しがらみ草紙・明22)／伊太利の佳人(愛軒居士訳 女学雑誌・

明22)／愛国余譚(鈍廻風流士訳 文明の母・明23)／のばら(鍾礼舎

訳 国民之友・明23)／妖魔王(大竹みどり訳 少年園・明24)／わ

かきエルテルがわづらひ(緑堂野史訳 しがらみ草紙・明26)／悲劇

「ファウスト」(大野洒竹訳 国民之友・明30)／花がたみ(忘我訳

帝国文学・明31)／ヘルマン、ウント、ドロテアの梗概(船尾栄太

郎訳 慶応義塾学報・明32)／独詩評釈(涙中の楽)(内海月杖訳 明

星・明33)／フワウスト(山田枯柳訳 裏錦・明33)／ゲーテがスタ

イン夫人に送れる文の中より(大塚楠緒子訳 心の花・明34)／独詩評

釈(涙の慰藉(かげろふ訳 心の花・明34)／西の歌屑 旅人がうた

へる夜の歌／おなじく(かげろふ訳 心の花・明35)／健気なる少

女(柴田守中訳 明星・明35)／文のゆきかひ(ゲーテとカール・

野田まづみ訳 文芸界・明35)／悲曲怨の刃(福智山人・紫雲村舎主人

訳 新小説・明36)／准亭郎の悲哀(高山樗牛訳 帝国文学・明36)

／春の歌(無題)(疑独庵訳 政教時報・明36)／旅人の夜歌／幸福な

る航海／希望(魔王(疑独庵訳 政教時報・明36)／涙の慰藉／海浜の秋

夜航樺訳 政教時報・明36)／おも影 若きヴェルテルの煩悶の一節

(まこと訳 心の花・明37)／哀詩(萍雨訳 文庫・明37)／羅馬悲歌

集の中より(天壇訳 白百合・明37)／水の霊(金子南冥訳 心の花・

明37)／かへり花(慰藉の涙(秋元蘆風訳 文庫・明37)／はながつ

み(流れに／旅人の夜のうた(おぼろづきよ訳 明星・明37)／小詩二曲

(無題(おぼろづきよ訳 明星・明38)／楽師(山岸求園訳 白百合・

明38)／哀歌(田中紫江訳 文庫・明38)／最期の手紙(英男訳 文庫・

明38)／新妻の夜(天壇訳 白百合・明38)／「あふさくるさ」(山岸

求園訳 白百合・明38)／水(落合東郭漢訳 心の花・明38)／雲の歌

(天壇訳 白百合・明38)／ミニョンの歌(山岸求園訳 白百合・明

38)／最後の書簡(田中紫江訳 新声・明38)／訳詩二章(海の静寂)

(氏家摩琴訳 心の花・明38)／抄訳二篇(不死不滅／貞操)(原青草

訳 明星・明40)／歓迎哀別(三井甲之訳 アカネ・明41)／やすみ無

き恋／旅人の夜の歌／見出しめ(塩山訳 アカネ・明41)／新しき恋

新しき生活(塩山訳 アカネ・明41)／羅馬の謝肉祭(山本迷羊訳

新小説・明41)／五月の歌 野薔薇(塩山訳 アカネ・明41)／ゼーゼ

ンハイムへ夏の夜(塩山訳 アカネ・明41)／海辺の秋の夜(塩山訳

アカネ・明41)／初恋(塩山訳 アカネ・明42)／夕暮と雨との詩(美

し夜(青山郊汀訳 帝国文学・明44)

【ハイネ編】 あまをとめ(森鷗外訳 国民之友・明22)／「ロオレライ」

(踏青軒主人訳 海潮・明24)／ロレライの歌(雲峯訳 女学雑誌・

明24)／ローレライ(紫苑山人訳 女学雑誌・明25)／新詩(うらみ

部・明30)／ハイネが詩(恋のかばね／わかれ／鶯の歌)(太田玉若訳

少年文集・明31)／花がたみ(阜月の野辺)(忘我訳 帝国文学・明

31)／ハイネが詩(給すがた／君がこころ／ほか)(太田玉若訳 少

年文集・明31)／ハイネが詩(夢がたり／君が姿／ほか)(太田玉若訳

少年文集・明31)／独詩評釈(あまをとめ)(内海月杖訳 明星・明33)

／独詩評釈(薄暮(内海月杖訳 明星・明33)／妖姫(久保青琴漢訳

明星・明33)／独詩評釈(牧童(内海月杖訳 明星・明33)／ハイネが

詩(憂世の旅／少女／ほか)(太田玉若訳 文芸倶楽部・明33)／はま

雪訳 心の花・明34)／西の歌屑(無題)(かげろふ訳 心の花・明

35)／西詩断片(無題)(かげろふ訳 心の花・明35)／破船者(孤松生

訳 文芸界・明35)／蕉影(無題)(尾上柴舟訳 明星・明35)／夢路(か

げろふ訳 心の花・明35)／くらら姫(大塚楠緒子訳 明星・明36)

／明眸(無題)(尾上柴舟訳 帝国文学・明36)／春の歌／蓮の花(疑独

庵訳 政教時報・明36)／蜚のとまや(尾上柴舟訳 新声・明36)／ハ

イネ三章(無題)(おもしろ人訳 明星・明37)／はいね三章(無題)

(おもしろ人訳 明星・明37)／神詣で(月袖痴人訳 ハガキ文学・

明37)／花の少女(上田敏訳 音楽・明38)／フラウ、メツテ(白潮子

訳 新声・明38)／訳詩三章(海辺にて)(逸名子訳 白百合・明38)

／ハインリヒ(熊本謙二郎訳注 英語の日本・明41)／ハイネの詩(あ

ま少女／春の歌／弥生(永井潜訳 心の花・明41)

【論考】「ハイネと日本(鈴木和子)」

【第35巻】 シラー集

●シラーの受容は、明治10年代は自由民権運動の高揚の中で『ウイ

ルヘルム・テル』の翻訳から始まったが、20年代に至ると、自己

の運命に諦観し刑場に赴く『メアリー・スチュアート』の訳がし

ばしば為される。また、鷗外、樗牛、抱月らの美学研究の影響な

のか、詩が多く訳された。

明治翻訳文学全集

編集 川戸道昭・中林良雄・榊原貴教

《新聞雑誌編》*《新聞雑誌編》編集協力

制作 ナダ出版センター 発行 大空社 1996-2001

《翻訳家編》

発行 大空社 / ナダ出版センター (共同出版) 2002-2003

《翻訳家編》 全 20 巻

巻	書名 (頁数)	刊行年	ISBN
1	三遊亭月朝集 (310 頁)	2002.6	978-4-86688-161-4
2	福地桜痴・益田克徳集 (470 頁)	2003.7	978-4-86688-162-1
3	井上勤集 (460 頁)	2002.6	978-4-86688-163-8
4	坪内逍遙集 (350 頁)	2002.1	978-4-86688-164-5
5	森田思軒集 I (370 頁)	2002.1	978-4-86688-165-2
6	森田思軒集 II (370 頁)	2003.7	978-4-86688-166-9
7	黒岩涙香集 (380 頁)	2003.3	978-4-86688-167-6
8	森鷗外集 I (380 頁)	2002.1	978-4-86688-168-3
9	森鷗外集 II (390 頁)	2002.6	978-4-86688-169-0
10	二葉亭四迷集 (360 頁)	2002.1	978-4-86688-170-6
11	原抱一庵集 (330 頁)	2003.3	978-4-86688-171-3
12	尾崎紅葉・小栗風葉集 (320 頁)	2002.6	978-4-86688-172-0
13	内田魯庵・嵯峨の屋お室集 (350 頁)	2002.6	978-4-86688-173-7
14	馬場孤蝶集 (400 頁)	2003.3	978-4-86688-174-4
15	松居松葉集 (400 頁)	2003.3	978-4-86688-175-1
16	田山花袋・国木田独歩集 (300 頁)	2003.7	978-4-86688-176-8
17	上田敏集 (340 頁)	2003.7	978-4-86688-177-5
18	森嶋峰・佐藤紅緑集 (380 頁)	2003.7	978-4-86688-178-2
19	草野柴二・押川春浪集 (360 頁)	2002.1	978-4-86688-179-9
20	小山内薫集 (320 頁)	2003.3	978-4-86688-180-5

★《新聞雑誌編》《翻訳家編》収録作品に重複は1篇もありません。

西欧作家別《新聞雑誌編》を縦系とし

翻訳家ごとに巻別する《翻訳家編》を横系として

明治期翻訳文学の全体像を浮かび上がらせる。

●内容・構成

《新聞雑誌編》①作家別巻立て 62 名 50 巻 (イギリス 16 巻 / アメリカ 6 巻 / フランス 11 巻 / ドイツ 2 巻 / ロシア 10 巻 / 北欧・南欧 5 巻) ②各巻頭口絵=作品 (装幀・口絵・挿絵・誌面等)・作者・翻訳家の写真・肖像等 ③作家・翻訳家ごとの「明治翻訳文学年表」(新聞・雑誌・単行本)収録 ④各巻に研究者による作家・作品論、目録・書誌、また翻訳文学との関わりについての論考を掲載

《翻訳家編》翻訳家別巻立て 24 名 20 巻。新聞雑誌および単行の稀観書より収録。

●収録体裁

①作品発表順配列を基本、発表年月 (新聞は年月日) を収録ページ欄外に作品名・翻訳者名と共に明示 ②作品は原則として発表掲載のまま該当ページを複製、新聞掲載作品はページの収まるように適宜編集

■全収録作品は、〈大空社出版〉ホームページに掲載 (各種目録)

*冊子カタログ進呈、ご請求下さい。

《新聞雑誌編》 全 50 巻・別巻 2

巻	書名 (頁数)	刊行年	ISBN
1	シェイクスピア集 I (360 頁)	1996.6	978-4-86688-111-9
2	シェイクスピア集 II (380 頁)	1996.10	978-4-86688-112-6
3	シェイクスピア集 III (410 頁)	1997.4	978-4-86688-113-3
4	シェイクスピア集 IV (450 頁)	1997.10	978-4-86688-114-0
5	スコット／ブロンテ集 (380 頁)	1999.12	978-4-86688-115-7
6	ディケンズ集 (430 頁)	1996.6	978-4-86688-116-4
7	ステューブソン集 (400 頁)	1999.5	978-4-86688-117-1
8	ドイル集 (380 頁)	1997.4	978-4-86688-118-8
9	コリンズ集 (350 頁)	1998.11	978-4-86688-119-5
10	ワイルド集 (390 頁)	1996.10	978-4-86688-120-1
11	サッカー／キャロル集 (380 頁)	1999.5	978-4-86688-121-8
12	キプリング集 (370 頁)	1998.5	978-4-86688-122-5
13	十八世紀イギリス文学集 (360 頁)	2000.4	978-4-86688-123-2
14	リットン集 (430 頁)	2000.10	978-4-86688-124-9
15	イギリス詩集 I (390 頁)	1998.5	978-4-86688-125-6
16	イギリス詩集 II (390 頁)	1998.11	978-4-86688-126-3
17	アーヴィング集 (310 頁)	1997.10	978-4-86688-127-0
18	ホーソー集 (360 頁)	1997.4	978-4-86688-128-7
19	ポー集 (390 頁)	1996.6	978-4-86688-129-4
20	マーク・トウェイン集 (370 頁)	1996.10	978-4-86688-130-0
21	バーネット集 (320 頁)	2000.10	978-4-86688-131-7
22	アメリカ詩集 (320 頁)	1999.12	978-4-86688-132-4
23	モリエール集 (380 頁)	2000.4	978-4-86688-133-1
24	ユゴー集 I (450 頁)	1996.10	978-4-86688-134-8
25	ユゴー集 II (440 頁)	1998.5	978-4-86688-135-5
26	デュマ父子集 (400 頁)	1997.4	978-4-86688-136-2
27	ヴェルヌ集 I (380 頁)	1996.6	978-4-86688-137-9
28	ヴェルヌ集 II (410 頁)	1997.10	978-4-86688-138-6
29	ドーデ集 (370 頁)	1999.5	978-4-86688-139-3
30	ゾラ集 (400 頁)	1998.11	978-4-86688-140-9
31	モーパッサン集 I (390 頁)	1997.10	978-4-86688-141-6
32	モーパッサン集 II (400 頁)	1999.12	978-4-86688-142-3
33	フランス文学集 (370 頁)	2000.10	978-4-86688-143-0
34	ゲーテ／ハイネ集 (430 頁)	1998.11	978-4-86688-144-7
35	シラー集 (350 頁)	1999.12	978-4-86688-145-4
36	プーキン／レールモントフ集 (360 頁)	1999.12	978-4-86688-146-1
37	ゴーゴリ集 (380 頁)	2000.4	978-4-86688-147-8
38	トルストイ集 I (360 頁)	1997.10	978-4-86688-148-5
39	トルストイ集 II (380 頁)	1999.5	978-4-86688-149-2
40	ツルゲーネフ集 I (390 頁)	1996.10	978-4-86688-150-8
41	ツルゲーネフ集 II (360 頁)	1997.4	978-4-86688-151-5
42	チェーホフ集 I (340 頁)	1998.11	978-4-86688-152-2
43	チェーホフ集 II (350 頁)	2000.4	978-4-86688-153-9
44	ゴーリキー集 (440 頁)	2000.10	978-4-86688-154-6
45	ドストエフスキー集 (370 頁)	1998.5	978-4-86688-155-3
46	アンデルセン集 (340 頁)	1996.6	978-4-86688-156-0
47	イブセン集 (470 頁)	1998.5	978-4-86688-157-7
48	ストリンドベリ集 (310 頁)	2000.10	978-4-86688-158-4
49	メーテルリンク集 (380 頁)	1999.5	978-4-86688-159-1
50	イタリア文学集 (440 頁)	2000.4	978-4-86688-160-7

別巻1 明治期翻訳文学総合年表 (360 頁) 2001.5

別巻2 総目次・総索引 (290 頁) 2001.5

別巻 〈品切〉



*各巻
分売可

各巻
定価 (本体 15,000 円 + 税)

【体裁】B5 判 (257×182 ミリ)・上製・クロス装

全10卷・別卷1

「発行：大空社／ナダ出版センター（共同出版）2010.12-2012.12 刊（全6回配本）」

■ 10万点の外国文学翻訳作品（図書・新聞・雑誌）と原作にたどりつける、かつてない規模の最強データツール

- 11

ナダ出版センター 刊行物 [総販売元：大空社出版]

●詳細はホームページ(カタログ進呈)

*共同出版：大空社

書 名	ISBN	本体価格(税抜)	備考
明治期グリム童話翻訳集成 (全5巻)	4-901061-05-4	揃 88,000円	残部 1 組
明治期シャーロック・ホームズ翻訳集成 (全3巻)	4-901061-06-2	揃 50,000円	残数組
日本における シャーロック・ホームズ	4-931522-09-2	5,500円	残数冊
黒岩涙香の研究と書誌	4-7727-0354-3	5,500円	残数冊
夏目漱石の研究と書誌	4-931522-10-6	6,000円	残数冊
日本におけるサミュエル・ジョンソンおよびジェイムズ・ボズウェル文献目録	4-931522-11-4	7,000円	残数冊
ロシア文化の森へ 比較文化の総合研究	4-931522-08-4	7,000円	残数冊
ロシア文化の森へ 比較文化の総合研究 第2集	4-931522-12-2	8,000円	残数冊
*シェイクスピア翻訳文学書全集・別巻 明治のシェイクスピア《総集編》(全2巻)	4-283-00141-4	揃 38,000円	残数組
*図説 絵本・挿絵大事典 (全3巻)	978-4-283-00621-8	揃 95,000円	パンセ学術図書販売専売
*図説 児童文学翻訳大事典 (全4巻)	978-4-283-00516-7	揃 120,000円	パンセ学術図書販売専売
*児童文学翻訳作品総覧 明治大正昭和平成の135年翻訳目録 (全8巻)	—	揃 140,000円	分売可 残数組

図説 翻訳文学総合事典 全5巻 翻訳文学総合事典刊行会(川戸・榊原)編 残部少

B5判・上製・総約2,300頁 (大空社/ナダ出版センター 2009) 978-4-283-00743-7 揃本体120,000円

1. 図録 日本の翻訳文学 (全カラー図版) / 図説日本翻訳文学史 400頁
- 2・3. 原作者と作品 (1・2) 総900頁
4. 原作者と作品 (3) / シリーズ叢書・全集総覧 500頁
5. 日本における翻訳文学 (研究編) 460頁

資料集成 近代日本語〈形成と翻訳〉 全18巻・別巻1 揃残部数組

川戸道昭・榊原貴教 編著 (共同出版：大空社/ナダ出版センター 2014-2016)

近代日本語は「翻訳」との遭遇によってその核心部分が形成されてきた。形成される「現場」を編集復刻集成。言文一致とは何なのかを改めて検証するための分野横断的資料。
B5判・上製・総9,550頁 揃本体467,000円 〈分売可〉

ホイトマンに嚮き合う ホイトマン論攷集 諸坂成利 (大空社出版 2024) 978-4-86688-237-6 本体2,800円

漱石を聴く コミュニケーションの視点から 小川栄一 (大空社出版 2019) 978-4-908926-61-7 本体3,600円

文明開化の歌人たち『開化新題歌集』を読む 青田伸夫 (大空社出版 2017) 978-4-908926-19-8 本体1,600円

井上靖『獵銃』の世界 詩と物語の融合絵巻 藤沢全 (大空社出版 2017) 978-4-908926-04-4 本体1,600円

オーディオブック 三国志 CD 全100枚 吉川英治原作・橋爪功朗読 (大空社 2009) 揃本体236,190円 僅少

*詳細内容見本進呈



東京大学
法学部附属

明治新聞雑誌文庫所蔵雑誌目次総覧 全150巻

*配本(分野別)
分売可

●こちらの商品のご注文は《(専売)パンセ学術図書販売》(フリーダイヤル 0120-518-521)へ

名作挿画全集 全6巻・別巻1 上笙一郎 復刻版編集 * 2014年10月刊 (大空社) 残部少

明治・大正・昭和初頭、多くの人々に読まれた名作 第一級洋画家・日本画家・漫画家・挿絵画家総動員 この全集のために
画き下ろした挿画が織りなす出版美術史上の不滅の大金字塔。(平凡社1935～1936・全12巻・附録「さしゑ」全12の編集復刻版)

A5判・上製・平均(1～6巻)330頁・別巻500頁 978-4-283-01309-4 揃本体100,000円

DVD-ROM (全1枚) 東洋学芸雑誌 1881～1930 全567号・約35,000頁(大空社2011) 本体75,000円

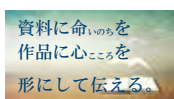
「東洋のNature」と評価された近代日本初の総合学術雑誌。欧米科学・思想受容を主導、史上に残る重要記事満載。

CD-ROM (全3枚) 赤い鳥 1918～1936 全196冊・約26,000頁〈カラー〉(大空社2008) 本体60,000円

主宰・鈴木三重吉 児童文化・文学・芸術・教育の歴史に燦然と輝く「不死鳥」。当代一流作家による童話・童謡・童画満載。

図説 絵本・挿絵大事典 全3巻 揃本体95,000円

図説 児童文学翻訳大事典 全4巻 揃本体120,000円



学術資料出版
大空社出版
www.ozorasha.co.jp

*
お
取
扱
い

東京都東村山市秋津町5-24-13-101
(〒189-0001)
TEL:042-306-3383 FAX:042-306-3384
eigy@ozorasha.co.jp